

応用プロジェクト V 2008 シラバス案

テーマ

インドネシア・ジャカルタ MRT プロジェクト

目的・ねらい

インドネシア・ジャカルタにおける MRT 建設プロジェクト(JBIC・円借款)を対象として、

1. インドネシアにおける地方分権の進展や、インドネシア政府および DKI Jakarta 政府の政治的権力構造、政治的決定プロセスの分析を通じ、MRT 運営会社(MRTC)の円滑な運営のために必要な対応策(政治的独立性の担保方法、関係主体との連携方法など)や、今後の政策決定への提言をまとめる。
2. 公共交通の料金設定理論や類似事例(TransJakarta やその他東南アジアにおける公共交通システムなど)の分析に基づき、事業主体が設定した料金案を評価する。
3. PR(Public Relations)の理論や手法、MRT が及ぼす社会的影響の分析(Social Impact Assessment)、ケーススタディに基づき、独自の PR 戦略を構築する。

学期終了後、希望者が現地(ジャカルタ)に赴き、それぞれの成果について現地のプロジェクト関係者・専門家に説明し、意見交換を行う。

講義スケジュール

1. イントロダクション(10/7)

本講義の内容説明, プロジェクトの概略説明

新 JICA 担当者による, 対象プロジェクトの説明

各グループ担当教員から作業内容の説明

2. ジャカルタの都市・交通事情および昨年度の成果の概略理解+班分け(10/14)

ジャカルタの現在抱える都市に関わる問題や昨年度の成果について解説する。

昨年度履修者による発表(ジャカルタ一般+SIA+PR+料金設定, 各 15 分程度)を行った後、それぞれのグループに班分けを行う。

3. ジャカルタの都市・交通問題の調査(10/21+10/28, 計 2 回)

まず、文献調査、インターネット等を通じてジャカルタの都市の成り立ち、社会経済状況、文化・宗教的特性、交通システム・サービスの現状等を調べてまとめる。次に、対象事業の資料や円借款事業に関する文献等を参考にして、MRT プロジェクトの位置づけ・概要についての理解を深める。 * 要参考文献, ジャカルタの地図

* 学生ごとの役割分担を決め、事前に指導して、10/28 に各グループで知識の共有を図る。

4. 課題へのアプローチ検討(11/4)

グループごとに、それぞれの課題へのアプローチを検討する。そのために、昨年度の成果や

既存理論等の文献を参考にする。

5. 中間発表 1(11/11)

ジャカルタの交通問題の把握と課題へのアプローチ方法について発表する。

6. 理論に関する勉強(11/18)

各グループのアプローチで利用する分析理論・方法論について学習する。各自が関係する文献を収集・精読し、グループで理解のための議論を行う。

7. 理論に関する勉強 2(11/25)

インフラ整備・公共政策等が導入されることによって生じる社会的影響の分析理論・方法論について学習する。担当教員が用意する分析事例の理解に努め、グループで影響分析の方法について検討する。

8. 基本的方針の検討(12/2)

具体的な研究のフレームワークを検討する。たとえば PR であれば、ジャカルタ MRT の PR という観点から SIA の結果や他の事例を分析し、ジャカルタで構築すべき社会的プロダクトの概要とその普及方法を考える。

9. 中間発表 2 の準備(12/9)

中間発表 2 に向けた準備を行う。

10. 中間発表 2(12/16)

各グループ、基本提案を発表する。

11. 計画案発表の準備 1(1/13)

具体的な調査計画などについて検討する。

12. 計画案発表の準備 2(1/20)

現地視察参加者募集。

13. 計画案発表の準備 3(1/27)

計画案発表のための資料, PowerPoint 等を作成する。

14. 最終発表(2/3)

最終成果を取りまとめて、グループごとに発表する。

15. 予備日 2(2/10)

16. 現地視察(3月上旬予定, 希望者のみ)

成績評価

出席点, 中間・最終発表の評価